

議事録（概要）

会議名	令和5年度 第1回芦屋町子ども・子育て会議					
会場	芦屋町役場4階 41会議室					
日時	令和6年2月16日（金）15:30～17:10					
委員の出欠	委員長	宮村 杉江	出	委員	濱田 亜貴子	欠
	副委員長	伊藤 亜希子	出	委員	末廣 由香里	出
	委員	中村 眞岐子	出	委員	泉原 久美子	出
	委員	本郷 あゆみ	欠	委員	波多江 亜貴子	出
	委員	井上 裕一	出	委員	石川 智雄	出
	委員	大山 夏絵	出	委員	木本 拓也	出
傍聴者	なし					
件名・議題	<p>議事</p> <p>(1)第2期子ども・子育て支援事業計画 令和4年度実績報告等について</p> <p>(2)芦屋町こども計画策定のための調査について</p> <p>(3)その他</p>					
合意事項 決定事項	<p>(1)特になし</p> <p>(2)一部の調査項目及び小学生への調査票の配布方法について、委員の意見を踏まえ、事務局にて検討・実施する</p> <p>(3)特になし</p>					

令和5年度 第1回 芦屋町子ども・子育て会議 議事録

1 開会

2 議事

(1) 第2期子ども・子育て支援事業計画 令和4年度実績報告等について（資料1～3）

【事務局による説明】

※資料1～3に基づき説明を行った

【質疑・意見等】

(委員)

資料2の10ページ「各種ボランティア団体の活動支援等」について、令和4年度の取組結果に「PTAが行う研修に対して補助金を交付し、家庭教育の充実を図った」とあるが、四校の内、研修を行っていないため補助金をもらっていない学校がある。研修を行っていない理由は、平日または土日の日中、夜間いずれの時間帯においても、保護者が多く集まるのが難しい。研修以外の活動にも補助金を活用できるよう制度を見直していただけるとありがたい。

(委員)

近年、子ども会が縮小化している部分をPTAが補っている側面がある。補助金は幅広い用途で活用できた方が良くと思うので、補助金の所管課に伝えてはいかがか。

(事務局)

ご意見は所管課である生涯学習課に伝える。

(委員長)

資料2の評価が「B」の事業2件について説明をお願いします。

(事務局)

4ページ「ファミリー・サポート・センター事業の実施に向けた検討」については、県内の市町村では半数程度、郡内では水巻町が実施している。他自治体などの情報収集を行っているが、運営を町が直接行うことの難しさを感じており、仕組みづくりの取り組み等に至らなかったため。

5ページ「あしやすくすくファイルの活用」については、ファイルの活用は行ったが、周知が不十分であったため。

(2) こども計画（次期子ども・子育て支援事業計画を含む）の策定について

【事務局による説明】

※追加資料1、2、資料4に基づき説明を行った

【質疑・意見等】

(委員)

今回のアンケート調査ではどの程度の回収が見込めるか。

(事務局)

前回（平成 31 年度に実施した、第 2 期芦屋町子ども・子育て支援事業計画策定のための教育・保育等のニーズ調査）の調査の回収率は約 50 パーセントであった。今回の調査は用紙での回答と併せてインターネット回答を追加する。用紙とインターネットの併用の場合、用紙だけと比べて一般的には回答率が 5 パーセント程度上昇する傾向にある。

(委員)

調査票⑥（15～39 歳）はインターネット回答のみであるが、インターネットで回答する手段がない人がいた場合の対応は。

(事務局)

連絡があれば、調査票を配付する。

(委員)

調査票③（小学 5 年生）の間 16「ここ半年くらいの状況について」は、どのようなことを尋ねるのか。

(事務局)

設問は「私は、他人の気持ちを考えて、親切にするようにしている」や「私は、だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避けている」など、周囲の人との接し方や日々の過ごし方に関してで、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」から選択するものである。

(委員)

調査票②（小学生児童の保護者）の間 10、11「放課後の過ごし方」は、学童クラブ利用者向けの質問か。

(事務局)

学童クラブ利用者だけでなく、放課後の時間をどのような場所で過ごしているかの質問を含んでいる。

(委員)

アンケート調査の対象者は、無作為抽出とするのか。

(事務局)

①未就学児童の保護者と②小学校児童の保護者はすべての対象世帯に対してアンケート調査を行う。

(委員)

対象世帯にきょうだいがいる場合は、きょうだいの人数分の調査票を回答することになるのか。

(事務局)

年齢が一番下の児童のみを調査対象とする予定である。

(委員)

アンケート調査の周知はどのように行うのか。

(事務局)

ホームページやLINE等を予定している。

(委員)

調査票③は、小学5年生が家族からの虐待、家族のDV等の質問に回答できるか疑問である。学校で調査を行うのであれば回答できるかもしれないが、家庭であれば保護者の目を気にして本音で回答できないのではないか。学校で回答、回収はしないのか。

(委員)

学校には調査票の配付、周知の協力は依頼できるかもしれないが、回答、回収はカリキュラムに影響するため難しい。

(委員)

同様のアンケート調査は、対象世帯への郵送と学校で行うのとどちらが一般的なやり方か。

(事務局)

対象世帯への郵送の方が多い。

(委員)

調査票③(小学5年生)は、学校で先生から少し説明して配付してもらった方が、回答の仕方を理解しやすいのではないか。

(委員長)

事務局には、委員の皆さんからの意見を踏まえて、検討、実施をお願いしたい。

(3) その他

【事務局による説明】

※資料5に基づき説明を行った。

【事務連絡】

(事務局)

- ①委員の改選について…現委員の任期はR6.3.31まで
- ①次回の会議について…次回の会議は来年度（4回程度予定）
- ②報酬・費用弁償について…詳細は通知で確認を

3 閉会